

特典⑩：行事を「点」から「線」にする！「成長の足跡」振り返りシート



運動会、音楽会、遠足……。大きな行事の後に、ただ「楽しかった」「頑張った」という感想だけで終わっていませんか？

このシートは、行事を「点（一日だけのイベント）」から「線（日常の成長に繋がるプロセス）」に変え、学級のOSを一段階アップデートするためのツールです。

1. 成長を可視化する「3ステップ・プロセス」

行事の「前・中・後」で、以下の視点を子どもたちと共有します。

フェーズ	行動のポイント	狙い（OSの強化）
① 事前（目標）	共通の「キーワード」を、行事の場面に翻訳する。	行事を「自分たちの力を試す場」と定義する。
② 中間（修正）	練習や準備の過程で起きた「小さなズレ」を修正する。	困難に直面した時の「組織（4つの部）」の動きを鍛える。
③ 事後（価値付け）	結果ではなく、自分たちが「獲得した力」を言葉にする。	成功体験を日常の「自信」へと定着させる。

2. 【子ども用】行事振り返りシート・テンプレート

そのまま印刷して、子どもに書かせることができる**3つの問い**です。



1. 【挑戦の証】

今回の行事に向けて、あなたが「自分たちの仕組み」を使って一番こだわったことは何ですか？



2. 【組織の力】

自分たちの「部」や「チーム」で、誰かが輝いていた瞬間や、助け合った場面を具体的に教えてください。



3. 【これからの自分・自分たち】

行事で発揮した力を、明日からの「日常生活」でどう活かしていきたいですか？

3. 【AIプロンプト】 行事後の「価値付けの語り」を作成する

行事のあとの「担任の最後のお話」は、子どもの心に最も深く言葉が刻まれる瞬間です。先生の「軸」に合わせた最高の語り案を作成します。ご自分で話すことが得意な方は、無理に作成する必要はありません。参考として使ってください。



【AIへのコピー用プロンプト】

以下の条件に基づき、行事（例：運動会）を終えた直後の帰りの会で、子どもたちに伝える【5分間の語り】の原稿を作成してください。

■ 前提条件

- ・ 行事名：【例：運動会】
- ・ 私のキーワード（軸）：【例：誇り】
- ・ クラスの今の様子：【例：惜しくも優勝は逃したが、最後まで声を掛け合っていた】

■ 作成のルール

1. 「勝敗」という結果ではなく、練習から本番にかけて見せた「子どもたちの行動の変化」を価値付けること。
2. キーワード（軸）を使い、「この行事を通して、私たちのOS（土台）がどう強くなったか」を語ること。
3. 行事で終わらせず、「この力を明日からの掃除や授業でどう見せてほしいか」という日常への繋ぎを入れること。
4. 21年の経験を持つベテラン教師のような、静かだが熱いトーンにすること。

4. 活用のアドバイス：行事は「日常」を映す鏡

行事中、子どもたちが自分たちで判断して動けたなら、それは日常の「仕組み化」が成功している証拠です。

もし課題が見つかったなら、それは「仕組みを強化するチャンス」だと捉えてください。このシートで得られた子どもの言葉を、「学級通信（特典②）」で保護者に発信することで、学校・子ども・保護者も一つの「線」で繋がりますね。